

這えば立て立てば歩めの親心 吾が身に積もる老いも忘れて」と謳われる、新しい息吹に希望を託し、燃え立つ心を抑えきれずにいる自分がいます。衆生済度に明け暮れる佛様の御加護を頂き、この一年まずまずの人生を送ることが出来ました。親様 御仏のお蔭で御座います。日々の生活に於いて、目違いを起こすことなく、聞き間違える事無く、嘘言わず、魂に偽りなく、朝起きてより夜寝るまで、善行に励む。これは、お釈迦様の教えであり、是こそ我々が追求める理想の姿であると思います。しかしながら世情は真逆で、最近色々な事件が勃発しています。畜生・修羅の世界です。畜生は、弱肉強食で、人命を尊重することなく殺戮をなんとも思わない非道の輩が住む世界です。修羅は、争いごと 戦争を好む輩が住む世界です。側杖を食わないように佛の御加護で身を守りましょう。一大事と言う言葉が示す通り、一つの事柄で一大事が勃発する事もあるのです。小さなうちに火を消せば無難となるも大きく燃え盛ってしまつては手が付けられません。それこそ一大事。大事件になつてしまい、野次馬の恰好な話題と成つてしまつたのです。私は力士の問題にしても、協会内部の問題もあるうが、司法に任せたら、その判断が下るのを待ち、派閥営利でなく、スポーツマンらしく司法の判決が出てから協会が関係者の処罰を下せばよいと思います。世の中は、天道即ち道理をわきまえて歩む事であり、天知る・地知る・人知る・我知る・これを曲げては通れません。天台宗の開祖最澄様が晩年に弟子達に申されたことは お互い仲良くしないではいけない、美しい衣服や、美味しい食物や、綺麗な住まいをほしがつてはいけない、等々修羅畜生に堕ちないように煩惱に負けないようにとの忠告であつたと思います。

種田山頭火も 今日 一日腹を立てない事 今日 一日嘘を言わない事 今日 一日物を無駄にしない事。」と三つの誓を立てての日暮をしました。この金言を胸に刻み込み、平成三〇年を迎えるべく、習慣づけておきたいと思ひます。大栗道楽師は慈悲を 怒しむとは人の喜びを

我がこのように喜べること、悲むとは、人の悲しみを吾がこのように悲しめること」と訳されています。この世は喜怒哀楽、苦楽の集合体です。皆が友として助け合いながら、より良き社会になるように努めましょう。「芸是れ立つ」と言ひます。森繁久彌さんがおっしゃつていましたが還暦を過ぎ一線を引いてから、熟年期二十年を楽しく有意義に過ごす為に、趣味を伸ばすもよし、新しく挑戦するもよし、「芸を身に着け、世の為に余生を送るのも一計かと思ひます。一芸は十年も努力すれば身に付いてくると申します。又、健康の為にも成るか、とも思ひます。人間として生きとし生かされる間、何かしら社会のお役に立てることがあると思ひます。来世に佛となつて佛のあとを継ぐにきまつた菩薩の生まれ出る世界が兜率天です。我らもここに住もうでわなないか。

輝く年を迎えましょう。

二十九年十二月一日

善壽男善入院油掛地藏尊